

1. 化学品及び会社情報**化学品の名称**

炭化けい素

製品安全データシートの供給者情報

Entegris, Inc.

129 Concord Road
Building 2
Billerica, MA 01821
USA

Telephone Number: +1-952-556-4181

Telephone Number: +1-800-394-4083 (toll free within North America)

日本インテグリス合同会社
〒108-0073 東京都港区三田1-4-28 三田国際ビルディング
電話番号：03-5442-9718

緊急連絡先：03-4520-9637 (CHEMTREC)

電子メール：Product.stewardship@entegris.com

推奨用途

半導体，工業及び光学用途

使用上の制限

知られていない。

2. 危険有害性の要約**GHS分類**

分類基準により不必要。

GHS ラベル要素**絵表示**

分類基準により不必要。

注意喚起語

分類基準により不必要

危険有害性情報

分類基準により不必要。

注意書き**安全対策**

分類基準により不必要。

応急措置

安全データシート

化学品の名称：炭化けい素

SDS ID: 0143 (JAPAN)

分類基準により不必要。

保管

分類基準により不必要。

廃棄

P501 内容物、容器を国際、国、都道府県、又は市町村の規則に従って廃棄すること。

分類区分に該当しない他の危険有害性

知られていない。

3. 組成及び成分情報

CAS	化学名	濃度 (%)	化審法 官報公示整理 番号	安衛法 官報公示整理 番号
409-21-2	炭化けい素	100	(1)-174	(1)-174

4. 応急措置

吸入した場合

有害作用が起きた場合は、汚染されていない場所へ移動すること。息をしていない場合は人工呼吸を行うこと。直ちに医師の手当てを受けること。

皮膚に付着した場合

汚染した衣服や靴を脱ぎながら、皮膚を石けんと水で15分以上洗い流すこと。必要な場合は、医師の手当てを受けること。汚染した衣服や靴は完全に洗浄し乾燥させた後、再使用すること。

眼に入った場合

大量の水で15分以上優しく洗い流す。次いで医師の手当てを受けること。

飲み込んだ場合

飲み込んだ場合は、医師の手当てを受けること。

医師に対する特別な注意事項

症状に応じた治療や補足治療を行うこと。

症状：急性

著しい悪影響に関する情報はない。

症状：遅発性

著しい悪影響に関する情報はない。

応急措置をする者の保護

適切な保護衣を着用すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

周辺火災に対応した消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤

知られていない。

特有の危険有害性

火災の危険性はほとんどない。

消火方法

危険のない限り、容器を出火域から移動すること。無人ホースホルダーまたはモニターノズルを使用し、消火後しばらくは容器を冷却すること。周辺火災に対応した消火剤を使用する。物質または燃焼副産物の吸入を避ける。処理作業用にダイク（導流堤）を設けること。

燃焼副産物

炭素酸化物、ケイ素の酸化物

消火を行う者の保護

暴露を防止するため、自給式空気呼吸器（SCBA）を備えた全身防護用防火服を着用すること。

6. 漏出時の措置**人体に対する注意事項**

個人用保護服及び器具を着用すること。粉塵の発生と蓄積を最小限にする。関係者以外は近づけず、危険地帯を隔離し、立ち入り禁止にすること。十分に換気をする。粉じんが溜まって、十分な濃度で空气中に浮遊すると、粉じん爆発となるおそれがあるため、粉じんがちり積もらないようにすること。取扱いの際は、粉じんの発生を防止し、着火源となるもの（火花、炎）は取り除くこと。粉じんを取り扱う場合は、火花を発生させない工具を使用すること。漏出した物質の拡散を防ぎ、土壌、水路、下水等に流れないようにすること。

環境に対する注意事項

環境への放出を避けること。

封じ込めおよび浄化の方法および機材

関係者以外は近づけず、危険地帯を隔離し、立ち入り禁止にすること。汚染箇所を掃く必要がある場合は、粉じん抑制剤を使用すること。高性能フィルターが付いた掃除機で流出物を収集するか、もしくは乾燥した流出物を濡らしてからすくい上げること。乾燥した物質を掃いたりしないこと。電気、静電気、摩擦による火花などの発火源を除去すること。水道や排水、下水に近づけないこと。水路、下水道、地下室または密閉区域への流入を防ぐ。浮遊する粉じんが堆積することを避けること。漏出物が少量の場合：容器を流出域から遠ざけて安全な場所へ移動する。掃除機やほうき、ブラシで物質を吸い取り、ラベル表示をした指定の廃棄用容器に入れること。漏出物が大量の場合：非常時担当者が対応できない場合は、掃除機等で物質をかき集め、適当な容器に入れて処分すること。粉じんの発生を防止し、風による拡散を防ぐこと。

7. 取扱い及び保管上の注意**取扱い**

眼、皮膚、衣服につけないこと。取扱い後は手をよく洗うこと。

保管

分類基準により不必要。

すべての現行の規制・基準に従って保管すること。換気の良い場所で保管すること。容器は密閉した状態に保つこと。涼しく乾燥した場所で保管すること。混触危険物質を避けて保管すること。

混触禁止物質

酸化剤

8. ばく露防止及び保護措置

成分許容濃度

炭化けい素	409-21-2
JSOH（日本産業衛生学会）	0.1 fiber/mL OEL
ACGIH（米国政府産業衛生専門家会議）	10 mg/m ³ TWA 非繊維性、吸入域粒子状物質、アスベスト及び結晶性シリカを1%以上含まない粒子状物質；3 mg/m ³ TWA 非繊維性、呼吸域粒子状物質、アスベスト及び結晶性シリカを1%以上含まない粒子状物質；0.1 繊維/cm ³ TWA（位相コントラスト照明を使用して、400-450Xの倍率（4 mmの対物レンズ）で、メンブレンフィルター法により決定）吸入性繊維、ウスカを含む、長さ5 μm以上、長さとの比3:1以上の繊維

ACGIH—許容濃度閾値—生物学的暴露指標（BEI）

この製品の各成分には生物学的限界値が設定されていない。

設備対策

局所排気又は密閉式換気システムを備えること。排気管、集塵機、粉じん容器及び処理機等の粉じん処理システムは作業場に粉じんの飛散を防ぐように設計されていることを確保すること（外部への漏出を防ぐこと）。適用暴露限度を遵守すること。

目の保護具

保護眼鏡を着用すること。

皮膚及び身体の保護具

適切な耐薬品性の衣服を着用すること。

手の防護具

適切な耐薬品性の手袋を着用すること。

呼吸用保護具

非常時に全面形面体を備えたSCBA（自給式呼吸器）が利用可能でなければならない。

9. 物理的及び化学的性質

外観	緑色～灰色結晶	物理的状態	固体
臭い	無臭	色	緑色から灰色
臭いのしきい（閾）値	情報なし	pH値	情報なし

安全データシート

化学品の名称：炭化けい素

SDS ID: 0143 (JAPAN)

融点	情報なし	沸点	3648.9 ° C
沸騰範囲	情報なし	凝固点	情報なし
蒸発率	情報なし	燃焼性 (固体、気体)	非引火性
自然発火温度	情報なし	引火点	(非引火性)
爆発下限値	情報なし	分解温度	2220 ° C
爆発上限値	情報なし	蒸気圧	情報なし
蒸気密度 (空気=1)	情報なし	比重 (水=1)	情報なし
溶解度 (水)	(不溶性)	n-オクタノール/水の分配係数	情報なし
粘度	情報なし	動粘度	情報なし
溶解度 (水以外)	情報なし	密度	2 - 3.2 g/cc
物理的性状	結晶	昇華	3650 ° C
分子式	Si-C	分子量	40.1

溶媒に対する溶解度
不溶性
酸類, アルコール

10. 安定性及び反応性

反応性

反応性危険有害性は予想されない。

安定性

常温常圧で安定。

危険有害反応可能性

重合しない。

避けるべき条件

浮遊する粉じんが堆積することを避けること。 混触危険物質との接触を避ける。

混触危険物質

酸化剤

危険有害な分解生成物
熱分解生成物
炭素酸化物, ケイ素の酸化物

11. 有害性情報

成分データ - LD50/LC50

この物質の成分について様々な情報源を用いて調査されたが、どのエンドポイントも特定されていない。

急性毒性推定値

データなし。

直後の影響

著しい悪影響に関する情報はない。

遅発性の影響

著しい悪影響に関する情報はない。

皮膚腐食性/刺激性

データなし

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

データなし

呼吸器感作性

データなし

皮膚感作性

データなし

生殖細胞変異原性

データなし

発がん性

この製品のいずれの成分も、ACGIH、IARC、NTP、DFGまたはOSHAに記載されていない。

生殖影響

データなし

腫瘍発生データ

データなし

特定標的臓器毒性（単回ばく露）

データなし

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

データなし

吸引性呼吸器有害性

データなし

暴露により悪化する健康状態

データなし

1 2. 環境影響情報**成分データー水生毒性**

この製品の成分に対するLOLI環境毒性データはない。

残留性及び分解性

データなし

生物濃縮性

データなし

土壌中の移動性

データなし

その他の有害な影響

製品に利用可能なデータはない。

1 3. 廃棄上の注意**残余廃棄物**

都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理すること。受領者に廃棄物の有害性情報を十分に伝えること。

汚染容器及び包装の廃棄方法

容器を現地の規則に従って廃棄すること。空の容器は、処理する前に残留物を全て除くこと。

1 4. 輸送上の注意**国際規則**

IATA（国際航空運送協会）：

国連番号： 規制なし

ICAO（国際民間航空条約）：

国連番号： 規制なし

IMDG（国際海上危険物規則）：

国連番号： 規制なし

国際ばら積み化学物質コード

この物質には、IBCコードによりばら積み危険物と特定することが必要な成分は含まれていない。

国内規則**陸上輸送**

規制なし。

海上輸送

規制なし。

航空輸送

規制なし。

15. 適用法令

国内規制

労働安全衛生法

炭化けい素	409-21-2
表示対象物質	>=0.1 % 重量
通知対象物質	>=0.1 % 重量

化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）

規制なし

毒物及び劇物取締法

規制なし

化審法

炭化けい素	
優先評価化学物質	政令番号 143

消防法－製品分類

非該当

航空法

規制なし

船舶安全法

規制なし

港則法

規制なし

各国インベントリー情報

炭化けい素（409-21-2）

US	CA	AU	CN	EU	化審法	安衛法	韓国KECI付録1	韓国KECI付録2
あり	DSL	あり	あり	EIN	あり	あり	あり	なし

韓国REACH CCA	メキシコ	NZ	PH	タイ-TECI	台湾、中国	ベトナム（ドラフト）
なし	あり	あり	あり	あり	あり	あり

16. その他の情報

NFPA 等級

健康：0 火災：0 不安定性：0

危険有害性尺度：0 = 最低 1 = 小 2 = 中 3 = 大 4 = 最大 * = 慢性的危険

変更の概要

8/5/2021 - 項目8, 15の更新。

作成日

04/25/2016

改訂日

8/5/2021

凡例

ACGIH—米国産業衛生専門家会議；ADR—陸路による危険物品の国際輸送に関する欧州協定；AU—オーストラリア；BOD—生化学的酸素要求量；C—摂氏；CA—カナダ；CA/MA/MN/NJ/PA—カリフォルニア州／マサチューセッツ州／ミネソタ州／ニュージャージー州／ペンシルバニア州*；CAS—ケミカルアブストラクトサービス；CERCLA—包括的環境対策・補償・責任法；CFR—米国連邦規制基準；GLP—化学物質の分類・表示・包装の規則；CN—中国；GPR—管理製品規則；DFG—ドイツ研究振興協会；DOT—米国運輸省；DSD—危険物指令；DSL—国内物質リスト；EC—欧州委員会；EEC—欧州経済共同体；EIN—欧州既存商業化学物質インベントリ；EINECS—欧州既存商業化学物質リスト；ENCS—化審法インベントリ；EPA—環境保護庁；EU—欧州連合；F—華氏；F—背景（ベネズエラの生物学的暴露指標の場合）；IARC—国際がん研究機関；IATA—国際航空輸送協会；ICAO—国際民間航空機関；IDL—成分開示リスト；IDLH—生命と健康に直接に危険；IMDG—国際海上危険物規則；ISHL—安衛法インベントリ；IUCLID—国際統一化学物質情報データベース；JP—日本；Kow—オクタノール／水系分配係数；KR KECI付録1—韓国既存化学物質インベントリ（KECI）／韓国既存化学物質リスト（KECL）；KR KECI付録2—韓国既存化学物質インベントリ（KECI）／韓国既存化学物質リスト（KECL）；KR—韓国；KR REACH CCA—韓国化学物質の登録及び評価に関する法律；LD50/LC50—半数致死濃度／半数影響濃度；LEL—爆発下限濃度；LLV—濃度限界値；LOLI—List Of Lists™—ChemAdvisorの規制データベース；MAK—最大許容労働環境濃度；MEL—最大暴露限界値；MX—メキシコ；Ne—非特異的；NFPA—米国消防協会；NIOSH—国立労働安全衛生研究所；NJTSR—ニュージャージー州企業秘密登録簿；Nq—非定量的；NSL—カナダ非国内物質リスト；NTP—国家毒性プログラム；NZ—ニュージーランド；OSHA—労働安全衛生庁；PEL—許容ばく露限界値；PH—フィリピン；RCRA—資源保護回収法；REACH—化学物質の登録、評価、認可及び制限に関する規則；RID—欧州鉄道輸送；SARA—スーパーファンド修正および再授權法；Sc—半定量的；STEL—短時間暴露限度；TCCA—韓国有害化学物質管理法；TDG—危険物輸送法および規則；TH—TECI—タイ—医薬品局（FDA）既存化学物質インベントリ（TECI）；TLV—限界値；TSCA—有害物質規制法；TW—台湾；TWA—時間加重平均；UEL—爆発上限濃度；UN/NA—国連／北アメリカ；US—米国；VLE—メキシコばく露限界値；VN（ドラフト）—ベトナム（ドラフト）；WHMIS—カナダ作業場危険有害性物質情報システム。

その他の情報

免責事項：

この安全データシート (M) SDS に記述されている内容は、Entegrisがこの製品の出荷時点で最新及び正確なものと思われます。Entegris は、この情報に関して、直接的または間接的にも、商業性に関する保証や特定の用途の適当性又はその他の保証を一切行いません。Entegrisは、この安全データシートに記述されている情報の使用の結果生じた損害及び負傷に対する責任を負いません。この安全データシートに記載されている化学的、物理的データ及び毒性等の性質に対する完全な調査は行われておりません。

安全データシート

化学品の名称: 炭化けい素

SDS ID: 0143 (JAPAN)

Entegris製品を使用するにあたり、その使用が使用者の目的に相当であるか又は使用方法の確認を行うことは使用者の責任となります。適用される法律や規制に従って使用することも使用者の責任です。

『Entegris』は、Entegris Inc.又はEntegris Inc.グループの登録商標です。©2015 Entegris Inc. 及びEntegris Inc.グループ。無断複写・転載を禁じます。